WIND OF KOBE！ 第８２３号

神戸運輸監理部情報

令和８年１１月１日　　国土交通省 神戸運輸監理部



今月の監理部情報・目次

◆客船フェスタ～オーシャンウィーク～に参加！・・・・・２
◆令和８年度（第７０回）船員労働安全衛生月間を終えて・４
◆「フェリーたかちほ」で校外学習を実施しました・・・・７
◆神戸市立糀台小学校・平野小学校で
バリアフリー教室を開催しました・・・・・・・・・・・９
◆モノコック測度 OJT を実施しました・・・・・・・・・１１
◆主要業務指標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
◆船員職業紹介状況・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
◆倉庫業の新規登録・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
◆倉庫業の変更登録（新設）・・・・・・・・・・・・・１６
◆１１月の行事予定・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
◆１０月の記者発表状況・・・・・・・・・・・・・・・１７

フォトミュージアム

第４２回
神戸港フォークリフト
技能向上大会

１０月８日メリケンパークにて、大会の一コマ！

サブタイトル「WIND OF KOBE！」は、湧き起こる風の清新さをイメージしています
神戸運輸監理部　広報編集

◆　客船フェスタ～オーシャンウィーク～に参加！

９月２７日（日）に「客船フェスタ～オーシャンウィーク～」が神戸ポートターミナルにて開催され、約４，０００名（主催者発表）が来場しました。

本イベントは、より多くの市民の方にクルーズ客船や港に親しみ、船旅やウォーターフロントの魅力を感じていただくことを目的に開催されており、神戸運輸監理部は海事ＰＲブースを出展しました。



間近で見るとかなりの迫力!

当日は、MITSUI OCEAN FUJI（総トン数：３２，４７７トン、全長：約１９８ｍ）が神戸港へ入港しており、間近で見ることができました。会場では、船長によるステージプログラムやクルーズ船のＰＲ、神戸海洋少年団による手旗信号パフォーマンス、ロープワーク教室や塗り絵イベントなど、クルーズが趣味の方から初心者の方まで楽しめるイベントが多数実施され、あいにくの天気の中でしたが大盛況となりました。

神戸運輸監理部の海事ＰＲブースでは、オリジナル缶バッジを配布したほか、海・船の仕事、海事観光について紹介するチラシ・クリアファイル・ノートなどがたくさん入ったエコバッグを配布しました。また、船長服を着用して飛鳥Ⅲと一緒に写真を撮影できるフォトコーナーを設置し、イベント開始直後から長蛇の列ができ、多くの方にお越しいただきました。



ズラッと長蛇の列ができました

缶バッジ配布では、特に、神戸運輸監理部イメージキャラクター「こうべぇ」と、当日遊びに来ていた国土交通省の公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」の缶バッジが大変好評でした。お子様たちは缶バッジをバッグや洋服につけてくださり、良い思い出になったのであれば幸いです。







当日配布した缶バッジ（左：こうべぇ、右：のりたろう）

また、フォトコーナーにも多くの方が来られました。こちらご夫妻はなんと『のりこ』さんと『たろう』さんで、二人あわせると「のりたろう」に。そこで、ご夫婦のご希望により「のりたろう」と一緒に飛鳥Ⅲをバックに記念撮影。

他にもご家族やお友達同士で、記念撮影を楽しまれていました。





『のりこ』さん『たろう』さんご夫婦とのりたろうの３ショット＆親子で記念撮影



ステージイベントのゆるキャラグリーティングでは、「のりたろう」（写真左）と神戸港ＰＲキャラクター「キャプテンタワー君」（写真右）が登壇。また、イベント会場をお散歩しながら各ブースを訪れ、ひっきりなしに来場者との記念撮影を行い、会場を盛り上げました。

歓声を浴びるのりたろうとキャプテンタワー君

配布していた缶バッジは好評のため早々に無くなり、ガッカリされてしまう方もおられましたが、缶バッジが無くなった後でも船長服を着ての記念撮影を楽しんでいただき、大成功に終わりました。また、イベント終了後にはMITSUI OCEAN FUJIの出航をUW旗※を振りながら、みんなで見送りました。本イベントをしっかり記憶に残していただけたのではないかと思います。



出航するMITSUI OCEAN FUJIと見送る人々

※UW旗：国際信号旗で「ご安航を祈る。I wish you a pleasant voyage.」を意味する。

本イベントが、幅広い方々に海や船に関心を持っていただくきっかけとなったのであれば幸いです。神戸運輸監理部では、今後も海事思想の普及とクルーズ振興に努めてまいります。

（海事振興部　旅客課）

◆　令和８年度（第７０回）船員労働安全衛生月間を終えて



＜月間開始式・監理部長挨拶＞

例年９月１日より １ か月間に渡って取り組まれる「船員労働安全衛生月間」は、昭和３２年から始まり、今年で７０年の節目を迎えました。この月間では、船員災害防止協会（船災防）などの関係団体と協力し、船員の労働災害撲滅及び健康確保を目的とした諸活動を展開しています。

７０年にわたる取組により、死傷災害や疾病の発生率は、当時に比べ大幅に減少していますが、近年は減少割合が鈍化傾向にあります。そのため、管内の災害の発生状況などを踏まえながら重点などを定め、船員の安全衛生の確保に向けた活動を行っています。

今年度は、神戸地区において、前年に海中転落して行方不明となった船員がライフジャケットを着用していなかったこと等を踏まえ、海中転落防止対策の徹底やライフジャケットの着用の徹底を呼びかけました。また、熱中症による休業者が増加していることから、訪船時に塩分補給用タブレットを届けて熱中症予防の呼びかけなどに重点を置いて取り組みました。
※安全衛生月間の取組は、神戸地区及び姫路地区それぞれの船員労働安全衛生協議会（事務局：船災防、神戸運輸監理部）が活動を担っています。

例年、月間の初日には「月間開始式」と船災防の「船員災害防止大会」を合同で行っており、今年も９月１日に神戸地区、姫路地区それぞれで実施しました。なお、神戸地区では海事関係者等４８名が参加し、船員災害防止に向けて決意を新たにしました。

月間開始式･安全衛生大会特別講演では､「船員の熱中症対策」と題して、一般財団法人神戸マリナーズ厚生会ポートアイランド病院の医師である石井泰介氏にご講演いただきました。

講演会では､熱中症の分類や重症化時の危険度、船内や海上特有の熱中症のリスクのほか、単なる気温だけではなく湿度や輻射熱等を考慮した暑さ指数（ＷＢＧＴ）の活用の有用性や熱中症対策､応急処置などについて説明がありました。



＜講演中の石井医師＞

神戸地区での訪船指導は、運航労務監理官を含む安全指導員により実施しました。

また、但馬地区では漁船を対象に、運航労務監理官と地元関係者による安全指導員が訪船指導を行いました。訪船時に不備が見られた船舶については、船長等に対し個別に改善指導を行いました。但馬地区の訪船指導は、ＮＨＫ、サンテレビ、読売新聞、日本海新聞の取材を受け、当日のテレビニュースや翌日の新聞記事で取り上げられました。

９月の月間中、雨天が重なったことなどにより、予定していた訪船指導を実施できない船舶もあったため、１０月以降も継続して訪船指導を実施し、船員災害の防止や健康確保の啓発を行いました。

今年度の神戸地区・但馬地区の訪船指導隻数は１０月２３日現在で神戸地区６３隻、但馬地区３１隻、計９４隻となりました。



＜「あおい」船内での船員無料健康相談＞

船員無料健康相談は、神戸掖済会病院により９月１６日に東播磨港にて、神戸マリナーズ厚生会病院により９月３０日にフェリー「あおい」船内（ジャンボフェリー株式会社）にて、それぞれ実施されました。

また、サニーピアクリニックにおいても無料健康相談（９月１日～３０日の平日午前）が実施され、月間中の相談数は、３か所で計４６名となりました。



＜海中転落者救助訓練の様子＞

海中転落者救助訓練は、大阪湾水先艇株式会社の主催により９月１１日に洲本港で実施され、見学者を含め７０名が参加しました。訓練では、落水時間や、落水者の意識の有無、船舶の設備状態等、様々な状況を想定し、状況に応じた適切な救助方法を確認しました。また、今年は女性の水先人が落水した場合を想定した訓練も実施されました。

姫路地区においても同様に、訪船指導や船員無料健康相談の実施などの活動を展開しました。



＜のぼり（メリケンパーク）＞

例年にも増して猛暑の中での活動となったにも関わらず、実施にご協力いただいた関係者および船員の皆様にはこの場をお借りして感謝を申し上げます。お忙しい中、誠にありがとうございました。

今後とも船員の安全衛生促進に向け、引き続きご理解とご協力をお願いします。

（海上安全環境部　船員労働環境・海技資格課）

◆　「フェリーたかちほ」で校外学習を実施しました

１０月８日（木）に神戸市立青陽灘高等支援学校１年生４３名の皆さんの校外学習として、宮崎カーフェリー株式会社にご協力いただき、「フェリーたかちほ」の船内見学会を実施しました。

神戸三宮フェリーターミナルに集合後、まずはターミナル３階の展望デッキで「フェリーたかちほ」を背景に班別の集合写真を撮影しました。



【いざ、見学開始!!】

撮影後はいよいよ船内見学に出発です。ターミナルからボーディングブリッジを経由して、車両用のランプウェイから乗船しました（通常は、ボーディングブリッジからそのまま乗船します）。

船内では、班ごとに様々な種類の客室やお風呂、ペットルームなどを見学しました。

生徒の皆さんは、「全然揺れない」「斜めってる～」「ここなら寝れるわ」「修学旅行にも使えそう（先生談）」など楽しんで見学してくれました。最近ではフェリーの客室はドミトリータイプや個室が主流となり、昔ながらの雑魚寝タイプの客室は減ってきていますが、友達や先生と床に転がりゴロゴロと寝心地を確認する姿はとても楽しそうでした。


【乗客気分でちょっと一服】


【大部屋でゴロゴロするのも楽しい】

船体後部の展望デッキに出ると神戸港が一望できます。ドアを開けて外に出た瞬間、「すごーい」「やばい!!」などの歓声があちこちから聞こえてきました。お天気にも恵まれ、写真を撮ったり、神戸空港に着陸する飛行機を見たり、停泊中のメガヨットを眺めたりと思い思いの時間を過ごしました。

質問＆感想タイムでは事前学習に使用したワークシートをもとに、「レストランのメニューはどんなものがありますか」「どんな物を運んでいますか」「お給料はいくらですか」「働いている人はどれくらいますか」など、たくさんの質問が出ました。

感想としては、「楽しかった」「お風呂が大きくてよかった。入ってみたかった」「大人になったら宮崎カーフェリーに乗って宮崎に行きたい」「船が揺れて怖かった」など、様々な声をいただきました。

最後にレストランでお弁当を食べ、大盛り上がりで終了となりました。

神戸運輸監理部では、これからも様々な機会を通して子供たちが船や海に興味を持ってもらえるような取組を進めていきます。生徒の皆さんにとって、今回の校外学習が家族旅行などでフェリーを利用するきっかけになってくれると、とてもうれしいです。




【天気も良く、展望デッキからの眺めは最高!!】




【質問＆感想タイム。宮崎カーフェリーの方が丁寧に答えてくれました。】

（海事振興部　旅客課）

◆　神戸市立糀台小学校・平野小学校でバリアフリー教室を開催しました

神戸運輸監理部交通みらい室では、兵庫県内の小中学生を対象にバリアフリー教室を開催しています。教室では、高齢者や障がい者の疑似体験や介助体験を通してバリアフリーの必要性を理解するとともに、ボランティアに関する意識の醸成を図っています。また、高齢者や障がい者に対して誰もが自然に快く「お手伝いしましょうか」と声をかけてサポートできる社会の実現を目指し、「心のバリアフリー」の推進に取り組んでいます。

今回は、令和８年１０月１日（木）に神戸市立糀台小学校において４年生６７名を対象に、１０月１５日（木）に神戸市立平野小学校において５年生２４名を対象に、バリアフリー教室を開催しました。

【車いす体験】

児童たちは自分で車いすを操作して、狭い道に見立てた長机の間を通り抜けたり、スタッフの介助を受けながらマットの段差を乗り越えたりすることで、車いすを使う際に問題となるバリアを体感しました。

（糀台・平野両小学校で実施）

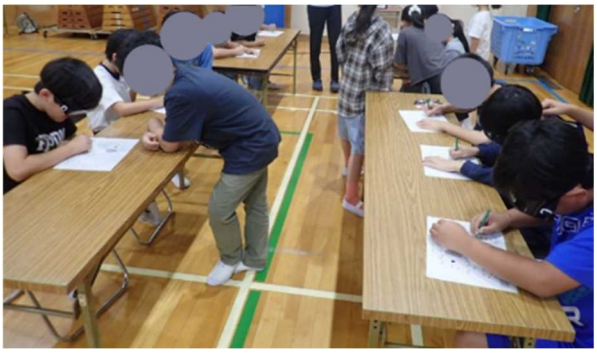


車いす体験の様子（糀台小）

【弱視体験】

弱視状態を作る特殊な眼鏡をかけ、点つなぎ（紙に書かれた数字の点を順番につなぐと、イラストが浮かび上がる）をしたり、様々な配色の文字を見たりすることで、見えにくい状態で書いたり読んだりすることの難しさを体験しました。

（糀台小学校で実施）



弱視状態で点つなぎを体験（糀台小）

【全盲体験】

アイマスクと白杖を使い、点字ブロックのない場所とある場所を歩く体験を行い、点字ブロックが目の不自由な方の大切な道しるべとなっていることを学びました。

（糀台・平野両小学校で実施）



アイマスクをして点字ブロック上を歩行（平野小）

【高齢者疑似体験】

糀台小学校では、軍手をつけて指先が動かしづらい状態でのふせんの付け外しや、ヘッドホンをした状態で発音がよく似た単語（「加藤さん」と「佐藤さん」など）を聞き分けるクイズを行い、手指が動かしにくい、耳が聞こえにくいなどの高齢者の特徴を体験しました。

平野小学校では、高齢者疑似体験装具を装着し、身体の動きに制限がある状態での歩行と階段の昇降を行い、高齢者にとってのバリアを体験しました。



軍手を付けてふせんの付け外しを体験（糀台小）



体験装具を着用して階段を下りる児童（平野小）

バリアフリー教室全体を通して、児童からは「いろいろな体験をして、障がい者や高齢者の気持ちがわかったので、これからは自分にできることをしていきたいと思いました」といった感想がありました。

本教室での学習を通して、児童は障がいのある方や高齢の方が感じているバリアを自分たちが体験することで、「心のバリアフリー」やコミュニケーションを取ることの大切さを学ぶことができたようです。

交通みらい室では、今後もさまざまな取組により、「心のバリアフリー」の推進を図ってまいります。

（企画推進本部　交通みらい室）

◆　モノコック測度 OJT を実施しました

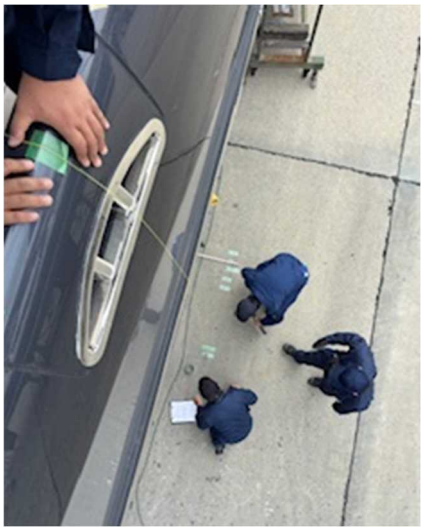


使用した船舶

１０月１９日（月）、職員の技術力向上と測度技術の継承を目的として、モノコック構造船の測度に関する OJT（職場内研修）を実施しました。

測度とは、船舶の大きさを示す「総トン数」を算定する業務であり、船舶の登録や各種法令の適用に関わる重要な業務です。総トン数は重さではなく、船舶内部の容積を基に算定されます。今回対象となったモノコック構造船は、主にプレジャーボートなどで採用されている構造の船舶で、一般的な船舶とは異なる方法で測度を行う必要があります。そのため、測度官には専門的な知識と実務経験が求められますが、対象となる船舶が限られ実務経験を積む機会が少ないことから、今回の OJT を実施しました。

―― 現場での測度作業 ――





測度の様子

今回の OJT には、中国運輸局、尾道海事事務所及び神戸運輸監理部から計３名の職員が参加しました。研修では、実際に上架（陸上に引き上げられた状態）されたモノコック構造船を使用しました。船体上部には構造物があるため、長さや幅を直接計測することは容易ではありません。そのため、下げ振り（重りの付いた糸）を用いて計測箇所を地面に投影し、その位置を基準に船体寸法を測定します。参加者は役割を分担しながら作業を行い、途中で役割を交代することで一連の作業を体験しました。

参加者からは、「現場でしか学べない判断力や対応力を習得できた。」「モノコック構造船特有の測度方法への理解が深まった。」などの感想が寄せられ、研修の有効性を実感することができました。

―― 現場経験が技術力向上の鍵 ――

このような作業は、単に寸法を測るだけでなく、船舶ごとの構造の違いや現場の状況を踏まえながら適切な判断を行うことが求められます。参加者は、実際の測度作業を通じてモノコック構造船の測度手法や現場で求められる対応力の重要性を学び、実践的な知識と技能への理解を一層深めました。

今後もこのような OJT を継続し、測度技術の確実な継承と測度官の実務能力の向上に取り組んでまいります。

（海上安全環境部　海事技術専門官（船舶測度官））

◆　主要業務指標

（ **令和８年１０月** ）

			実　　績	前年同月比
１．管内発着フェリー・旅客船方面別輸送量 **（令和８年８月分）**	九　　州 方　　面	旅　客	６１，３４３人	８７．３％
		車　両	３３，４３４台	８８．６％
	淡路四国 方　　面	旅　客	１１２，７４０人	９６．６％
		車　両	２７，８２６台	１０２．４％
２．神戸港起点遊覧船乗船者数 **（令和８年８月分）**	総　　数		３７，３９４人	９６．２％
	内：ﾚｽﾄﾗﾝｼｯﾌﾟ		１４，５３５人	９８．５％
３．神戸港内貿貨物量【速報値】 **（令和８年５月分）**	純内貿貨物量 （ﾌｪﾘｰ貨物除く）		５８９千ﾄﾝ	１０４．８％
	中継貨物量		５６４千ﾄﾝ	９７．９％
４．神戸港コンテナ船入港隻（**令和８年５月分**）			３２２隻	１０１．９％
５．神戸港外貿コンテナ貨物取扱量【速報値】 **（令和８年５月分）**	総　　量		１７４，５１０TEU	１００．６％
	内：ﾄﾗﾝｼｯﾌﾟ貨物		１６８TEU	２０７．４％
６．神戸港港湾労働者数【速報値】 **（令和８年９月末現在）**	総　　数		５，２７５人	９９．３％
	内：船　内		１，１９９人	１００．１％
	内：沿　岸		３，３２２人	１００．０％
７．神戸市内倉庫貨物入庫量 **（令和８年８月分）**	普通倉庫		４４１千ﾄﾝ	１００．１％
	冷蔵倉庫		１２２千ﾄﾝ	１１５．８％
８．神戸市内倉庫貨物保管残高 **（令和８年８月分）**	普通倉庫		９５４千ﾄﾝ	９８．２％
	冷蔵倉庫		２１０千ﾄﾝ	１０３．７％

（注）①３．の中継貨物量は、神戸港輸入貨物を国内他港へ移出したもの及び神戸港輸出貨物で国内他港から移入したものである。

②５．のトランシップ貨物は、外航船で輸送して来た貨物を神戸港で他の外航船に積み替えて輸送したものである。

③３．４．５．の資料出所は、神戸市港湾局であり、６．の資料出所は、神戸公共職業安定所神戸港労働出張所である。

④７．８．の資料出所は、兵庫県倉庫協会及び兵庫県冷蔵倉庫協会である。

（総務企画部物流施設対策官、海事振興部旅客課、貨物・港運課）

◆　船員職業紹介状況（令和８年９月）

最近３か月間の船員職業紹介実績表　（単位：人）

区分	月別	令和８年７月	令和８年８月	令和８年９月
合計	求人数	４６	１３	２３
	求職数	１５	９	４
	求職者成立数	１	２	１
外航船	求人数	０	０	０
	求職数	０	２	０
	求職者成立数	０	１	０
内航船（旅客船を含む）	求人数	３８	１１	１０
	求職数	１１	６	４
	求職者成立数	１	１	１
その他船舶（曳船・作業船等）	求人数	８	２	１３
	求職数	４	１	０
	求職者成立数	０	０	０
漁船	求人数	０	０	０
	求職数	０	０	０
	求職者成立数	０	０	０
有効求人倍率（倍）		３．０７	２．７４	３．２８

最近３か月間の船員の失業給付金支給実績

区分	月別	令和８年７月	令和８年８月	令和８年９月
失業給付金受給者実数（人）		５	３	４
失業等給付金支給額　（千円）		１，８６１	４６３	２，５１６

※失業給付金受給者実数とは、当月中に失業給付金を支給した者の実数である。

（海事振興部　船員労政課）

◆　倉庫業の新規登録（令和８年９月）

【 事業者名 】株式会社ＬＮＪ神戸

<table>
<tr><td>所在地</td><td colspan="2">兵庫県神戸市東灘区
深江浜町３４－１</td><td>代表者</td><td colspan="2">代表取締役　長田　大祐</td></tr>
<tr><td rowspan="4">倉庫の概要</td><td>倉庫の名称</td><td colspan="4">弥栄台倉庫</td></tr>
<tr><td>類　別</td><td>１類倉庫</td><td>位　置</td><td colspan="2">神戸市須磨区弥栄台４丁目１番地２</td></tr>
<tr><td>構　造</td><td colspan="4">鉄骨造、金属断熱サンドイッチパネル張、
ガルバリウム鋼板二重折板葺、４階建（耐火建築物）</td></tr>
<tr><td>面　積</td><td>８，９６１㎡</td><td>登録年月日</td><td colspan="2">令和８年９月２日</td></tr>
</table>

◆　倉庫業の変更登録（新設）（令和８年９月）

【 事業者名 】三徳ロジスティクス株式会社

所在地	兵庫県揖保郡太子町阿曽６４４番地１		代表者	代表取締役　金田　陽子	
倉庫の概要	倉庫の名称	Ｇ棟			
	類　別	１類倉庫	位　置	揖保郡太子町阿曽字西春日７１１番	
	構　造	鉄骨造、角波鉄板張、カラーガルバリウム鋼板葺、 平屋建（準耐火建築物）			
	面　積	７８５㎡	登録年月日	令和８年９月１日	

【 事業者名 】株式会社メディセオ

所在地	東京都中央区京橋３丁目１番１号	代表者	代表取締役社長　今川　国明	
倉庫の概要	倉庫の名称	メディセオ北神センター　一類倉庫		
	類　別	１類倉庫	位　置	西宮市山口町阪神物流センター１丁目２４番
	構　造	鉄骨造、角波亜鉛鉄板張、ガルバリウム鋼板折板葺一部コンクリート造、４階建（耐火建築物）		
	面　積	２，００６㎡	登録年月日	令和８年９月１０日

【 事業者名 】株式会社日新

所在地	神奈川県横浜市中区尾上町６丁目８１番地		代表者	代表取締役社長　峯　茂樹
倉庫の概要	倉庫の名称	神戸化学品センター　１～８号倉庫		
	類　別	４号倉庫：１類倉庫 １～３･５～７号倉庫 ：危険品（建屋）倉庫 ８号倉庫：危険品（野積）倉庫	位　置	神戸市西区見津が丘６丁目 ２６番１、２６番２、 ２６番３
	構　造	１～４･６･７号倉庫：鉄骨造、ＡＬＣ縦張り、ガルバリウム鋼板シングル折板葺、１階建 ５号倉庫：鉄骨造、ガルバリウム鋼板サイディング張、ガルバリウム鋼板シングル折板葺、１階建 ８号倉庫：東･南･北面メッシュフェンス有刺鉄線囲み、西面フェンスコンクリート法面石垣囲み、野積場		
	面　積	１　類　　：１，２３８㎡ 危険品（建屋）：５，１４７㎡ 危険品（野積）：４，９８２㎡	登録 年月日	令和８年９月２５日

◆　１１月の行事予定

日程	行　事　（場　所）	担　当　課
３日	親子交流海洋教室 （ジャンボフェリー「あおい」）	海事振興部 船員労政課
２４日	近畿地方交通審議会　神戸船員部会 神戸内航鋼船運航業及び木船運航業最低賃金専門部会 （神戸第２地方合同庁舎）	海事振興部 船員労政課
２４日	令和８年度運航管理者及び乗組員研修 （神戸第２地方合同庁舎）	海上安全環境部 運航労務監理官
２６日	近畿地方交通審議会　神戸船員部会 （神戸第２地方合同庁舎）	海事振興部 船員労政課

（総務企画部　総務課）

◆　１０月の記者発表状況

日程	発表事項	担当課
１日	「輸送の安全の確保に関する命令」の発出 ～海上運送法第１９条第２項に基づく行政処分～	海上安全環境部 運航労務監理官
２日	「輸送の安全の確保に関する命令」の発出 ～海上運送法第１９条第２項に基づく行政処分～	海上安全環境部 運航労務監理官
９日	参加者募集！ジャンボフェリーで「親子交流海洋教室」 ～海や船を身近に感じて体験する船上教室を開催！～	海事振興部 船員労政課
１５日	ＶＲを活用した海事出前授業を実施 ～内航海運事業者が船や港の役割、船員の仕事を紹介～	海事振興部 船員労政課
１６日	外国人留学生が日本の物流を学ぶ ～「神戸港物流施設見学会」を実施します～	総務企画部 物流施設対策官
１９日	高校生が「船を支えるものづくり」の現場へ ～舶用工業への理解を深める～	海事振興部 船舶産業課
３０日	工業高校教員向け「旋盤加工基礎講習」を開催 ～造船現場の技術で技能向上を支援～	海事振興部 船舶産業課
３０日	無車検車両、見逃しません！	兵庫陸運部 検査整備保安部門

（総務企画部　広報対策官）

１０月８日にメリケンパークで開催された「第４２回神戸港フォークリフト技能向上大会」、皆さんご覧になりましたか？

出場者のスムーズなフォークリフトさばき（というのでしょうか？）は、とてもかっこよかったです。

神戸港でのお仕事の様子はなかなか見られませんが、
過去の大会ＰＲ動画は
こちらからご覧いただけます⇒





神戸運輸監理部
イメージキャラクター
「こうべぇ」

神戸運輸監理部ホームページ

神戸運輸監理部Ｘ

神戸運輸監理部 YouTube

～ホームページやＸ等で情報を発信しています。是非ご覧ください。～